

## ◎平成26年度一般会計予算 40億9千万円

平成26年度の一般会計及び特別会計の予算は3月6日開会の定例村議会において、きめ細かい審議を経て3月13日原案どおり可決されました。  
一般会計の予算は、40億9千万円で前年度に比べ4.3%の増額となりました。

### ○一般会計歳入

単位：千円

	款	本年度	前年度	比較	説明
1	村 税	543,976	563,991	△ 20,015	村民税、固定資産税、軽自動車税、村たばこ税、入湯税。
2	地 方 譲 与 税	63,000	70,000	△ 7,000	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税。
3	利 子 割 交 付 金	500	500	0	預金利子等の所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
4	配 当 割 交 付 金	300	300	0	特定配当等の額に分離課税された県民税から一定割合が交付。
5	株式等譲渡所得割交付金	100	100	0	特定株式等譲渡所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
6	地方消費税交付金	73,000	48,000	25,000	消費税5%のうち、国4%・地方1%（県1/2、市町村1/2）。
7	自動車取得税交付金	15,000	16,000	△ 1,000	自動車取得税の一定額が村道の延長と面積を基準に交付。
8	ゴルフ場利用税交付金	3,500	3,500	0	ゴルフ場利用税の7割が交付。
9	地方特例交付金	400	500	△ 100	減収補てん特例交付金。
10	地 方 交 付 税	1,550,000	1,550,000	0	村の基準財政収入額と基準財政需要額の差を国が交付。歳入の4割弱。
11	交通安全対策特別交付金	1,500	1,500	0	交通反則金を配分。道路交通安全施設整備に充当。
12	分担金及び負担金	18,186	18,252	△ 66	学校給食費負担金、各種検診個人負担金など。
13	使用料及び手数料	19,498	20,310	△ 812	村営住宅や体育施設の使用料、公共物占用料、各種証明手数料など。
14	国 庫 支 出 金	308,722	107,345	201,377	障害者福祉サービス費等負担金、児童手当特例給付費負担金、社会資本整備総合交付金など。
15	県 支 出 金	291,356	244,960	46,396	障害福祉・児童福祉・社会福祉補助金、小規模土地改良補助金、国体施設整備費補助金など。
16	財 産 収 入	19,300	8,348	10,952	土地、建物の貸付料、基金の預金利子など。
17	寄 附 金	1,681	1,601	80	村民や各種団体からの一般寄附金及びふるさと納税寄付金。
18	繰 入 金	434,001	200,001	234,000	村の貯金（財政調整基金他）からの繰入れ。
19	繰 越 金	50,000	50,000	0	前年度決算後の余剰金。
20	諸 収 入	73,480	334,792	△ 261,312	預金利子、貸付金元利収入、花の駅事業収入及びスポーツ振興くじ助成金などの雑収入等。
21	村 債	622,500	680,000	△ 57,500	過疎対策事業債、臨時財政対策債。
歳 入 合 計		4,090,000	3,920,000	170,000	
歳入合計のうち自主財源		1,160,122	1,197,295	△ 37,173	

○一般会計歳出

単位：千円

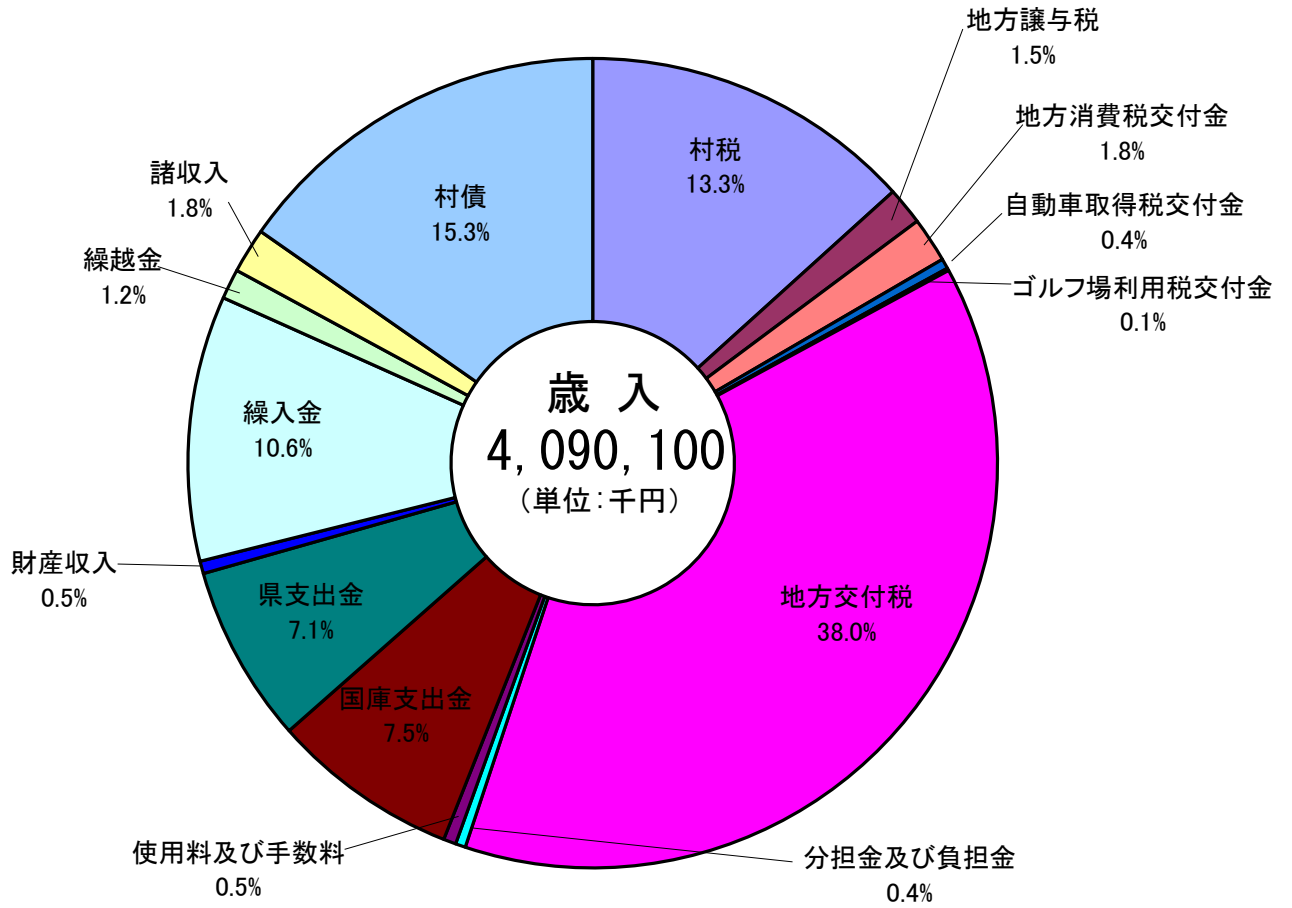
款	本年度	前年度	比較	説明
1 議会費	71,227	70,350	877	村議会の活動に要する経費。
2 総務費	509,012	438,453	70,559	人事、企画、財政、情報政策、徴税、戸籍、選挙、交通安全など。
3 民生費	697,676	673,207	24,469	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療、保育所など。国保・介護各会計への支出など。
4 衛生費	490,376	517,138	△ 26,762	総合検診、予防接種、環境衛生、健康管理センター、簡水・後期高齢各会計への支出など。
5 労働費	9,260	6,498	2,762	緊急雇用創出事業、労働関係各団体への負担金・補助金の支出など。
6 農林水産業費	191,494	168,021	23,473	農業委員会、農業土木、農業・畜産振興、林業・水産業費など。
7 商工費	87,045	88,242	△ 1,197	商工業振興、観光振興。
8 土木費	532,415	379,648	152,767	道路、橋梁、河川、除雪経費、下水道会計への支出など。
9 消防費	165,013	164,562	451	広域消防への負担金、消防団経費など。
10 教育費	950,634	957,424	△ 6,790	学校教育、生涯学習、スポーツ振興など。
11 災害復旧費	3	2,503	△ 2,500	大雨、暴風、地震などの災害による被災施設の復旧費。
12 公債費	288,195	351,954	△ 63,759	村債の元金・利子、一時借入金の利子。
13 諸支出	95,650	100,000	△ 4,350	観光施設事業特別会計への補助。
14 予備費	2,000	2,000	0	予算外の支出または予算超過の支出に充てる経費。
歳出合計	4,090,000	3,920,000	170,000	

○特別会計予算

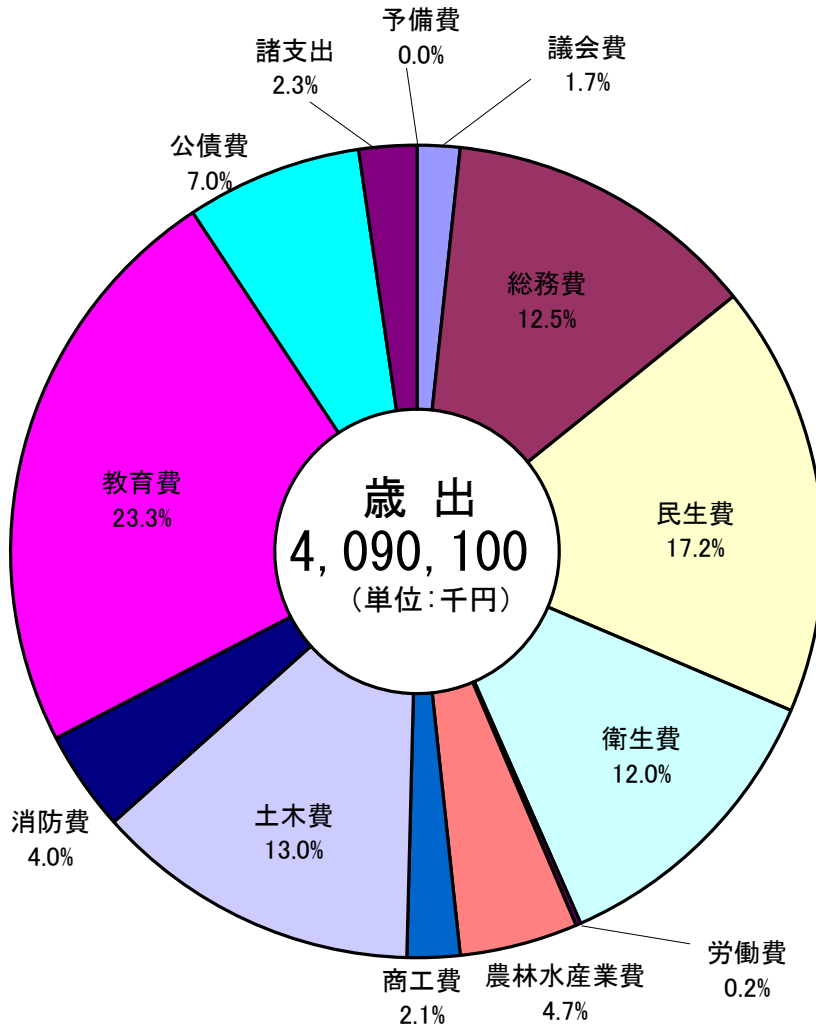
単位：千円

特別会計名	本年度	前年度	比較	説明
国民健康保険	848,826	864,265	△ 15,439	社会保険、共済組合等の加入者以外の医療費給付事業。
簡易水道事業	87,800	77,000	10,800	6つの簡易水道事業の管理運営。
観光施設事業	尾瀬ロッジ、オグナほたかスキー場、武尊牧場観光施設の経営管理。			
収益的収入	112,240	103,110	9,130	経営による収益。他会計補助金。
収益的支出	111,235	102,791	8,444	収益を上げるための経費。
資本的収入	10,000	20,000	△ 10,000	他会計補助金。
資本的支出	42,500	65,000	△ 22,500	企業債、長期借入償還金。
介護保険	507,054	463,838	43,216	介護予防、介護サービス事業。
下水道事業等	121,520	105,768	15,752	農集排、特環公共下水道事業の管理運営。
後期高齢者医療	58,561	54,031	4,530	75歳以上（一定の障害等がある人は65歳以上）の者の医療費給付事業。

# 《 歳入 》



# 《 歳 出 》



# 平成 26 年度当初予算の主要事業

## ◎は重点項目

### 1. ～自主・自立の村づくりのために～ （村民・行政）

- 第 5 次片品村行政改革大綱にもとづき行財政改革の推進を図る。
- 固定資産の平成 27 年評価替作業及び適正課税に向けた取り組みを実施
- 村税徴収率向上対策としてコンビニ収納サービスの導入（平成 27 年度実施）

### 2. ～誰もが安心して暮らせるために～ （保健・福祉）

- 乳幼児、母子（父子）、障害児者、高齢者、福祉のため、各種事業を推進する。
- 総合健診や各種予防事業を実施し、村民の健康保持増進を推進する。
- 2 歳児以上の保育料無料化を継続実施し、子育て支援を推進する。
- 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の 3 特別会計の適正な運営を実施し、医療。福祉の充実を推進する。
- 身近で頻度の高い保健サービスを一元的に実施することで、効率的な予算運用を図り、住民が一次予防から三次予防まで自発的に行うための支援を充実する。（総合健診、乳幼児健診、不妊治療費補助制度、乳児から高齢者の予防接種等）
- 保健・福祉・医療・介護の連携と予防事業の実施で、医療費や介護保険料・自立支援費の抑制をする。

### 3. ～豊かな心をはぐくむために～ （教育・文化）

- 片品小と片品北小の円滑な統合を実施する。
- 安全なスクールバスの運行を行う。
- 新片品小の建築と片品中の改修設計を行う。
- ◎第 70 回国体スキー競技会を開催する。
- 片品村史改訂版を完成させる。

### 4. ～快適で安全な生活のために～ （環境・安全）

- ◎生活道路網の保全整備と老朽化した橋梁の架替えや長寿命化対策を実施する。（塗川橋、三松橋の整備）
- 快適な生活と美しい環境保全をつくる合併処理浄化槽を推進する。
- 消防施設・機材の整備充実と防災体制の整備を推進する。
- 交通安全対策・防犯対策の充実を図る。
- 大清水・一ノ瀬間における車両運行の実用化に向けた試験運行を支援する。

### 5. ～資源を活かした活気ある村づくりのために～ （産業）

- ◎第 3 次総合計画後期基本計画シンボルプロジェクトを推進し、若者等の雇用創造等を図る。
- 農業と観光の連携した 6 次産業化を含めた取り組みを推進する。
- 体験旅行及び外国人等の受入推進を図る。
- 小口資金融資による村独自の利子補給制度の継続実施。
- 有害鳥獣対策として防護柵の設置と電柵の貸与等を実施する。
- 近代化農業推進のためパイプハウス導入のための補助などの支援を実施する。
- 若者の就農を定着させるための青年就農給付金事業を実施する。